

「台湾バナナ 日台友好交流会」を開催

学校法人神戸学園様より台湾バナナを子どもたちへ

台湾の食文化理解のため、「台湾バナナ」を古賀市の小学生と教職員に寄贈したいと、学校法人神戸学園より申し出がありました。本市と交流を続けている、台北駐福岡経済文化弁事処の陳銘俊^{ちんめいしゅん}総領事の紹介がきっかけとなったもので、公益活動の一環として寄贈されるものです。

草の根交流を通じて、子どもたちの国際感覚の醸成につなげるため、蔣^{しょう} 惠萍^{けいへい}神戸学園総長一行、陳銘俊^{ちんめいしゅん}総領事一行を招き「台湾バナナ 日台友好交流会」を開催します。

■概要・経緯

本市は、従来から台湾と草の根交流を続けています。令和3年6月に日本政府がワクチンを供給したお礼として、日本にマスクが寄贈された際には、古賀市に1万6000枚のマスクが届きました。同年10月には、花鶴小学校で「日台友好マスク寄贈式」を実施、修学旅行に出発する小学6年生・中学2年生、そして受験を控えた中学3年生などを対象に配布しました。マスクをもらった子どもたちからは「台湾の人たちにお礼の気持ちを伝えたい!」と声があがり、各学校でお礼の寄せ書きなどを作成し、今年1月に「日台友好マスク 感謝の気持ちを伝える会」を開催し、交流を深めてきました。

このような経緯もあり、今回、学校法人神戸学園からのご厚意を受け、台湾バナナを寄贈いただくとともに、草の根交流を今後も継続していきたいと、「台湾バナナ 日台友好交流会」を開催します。

■内容等

日時：令和4年10月11日（火）10：45～11：15

場所：古賀西小学校

参加者：市内8小学校より各校代表児童1名 引率者各校1名
古賀西小学校 6年生全員

事業概要：市内全小学校（8校）から、順番にお礼の言葉をリレー方式で届けます。
お礼の言葉終了後に、台北駐福岡経済文化弁事処より子どもたちへ台湾の食文化などについてご紹介いただきます。

※会場には、各学校代表児童1名と古賀西小学校6年生全員の参加を予定しています。
その他の児童は、各学校からZOOMで交流会の様子を視聴する予定です。

【問い合わせ先】

古賀市役所 まちづくり推進課 国際交流・多文化共生係

担当：飯尾・渋田

電話：092-942-1165